

第10回

市内小学校 児童版画展

岡谷市は版画家・武井武雄が生まれ育ち、信州の版画活動の原点となった「双燈社版画部会」があったまちです。その伝統は今でも生き続け、市民の版画活動が盛んであり、学校でも版画学習に力を注いでいます。

そうした土壌をふまえて、平成6年から、市内小学校児童版画展が毎年開催されています。今年も、子どもがとらえた自由な発想と大胆な構図の多彩な版画が出品されます。

個性溢れる児童の力作をご覧ください。

2003年 2月1日(土)～2月23日(日)

- 会場 市立岡谷美術考古館 3階美術展示室
☎22-5854 (FAX兼用)
- 時間 午前9時～午後5時 ■休館日 2月3日、10日、12日、17日
- 入館料 大人350円(250円) 小人150円(100円)
※市内小中学生・高校生は無料 ()内は団体料金



第9回
岡谷市教育委員会賞
「稲かりをしている人」
小口 恭平くん

ちいさなおはなしの森

乳幼児向けの絵本の読み聞かせ・パネルシアター・紙芝居など…。

期日…2月18日(火)
時間…午前10時30分から
会場…図書館2階会議室

おはなしの森

絵本の読み聞かせ・語り・パネルシアター・紙芝居などを行います。

期日…毎週土曜日
時間…午後3時からと午後3時30分からの2回

図書館

☎FAX 22-2031

お仕事で忙しい方、体の不自由な方など自宅でゆっくり本が探せますのでご利用ください。



☆諏訪広域図書館情報ネットワークのホームページ『りぶねっとすわズラー』から諏訪地域6市町村の本の検索と予約ができます。

インターネットで
本の検索・予約が
できます

ネット予約を利用するには……まず登録を

パスワードなどの登録(web利用申込み)をすると、ホームページ上で本を予約することができます。諏訪地域6図書館のどの館でも、登録の受付をしています。登録料は無料です。

ホームページ <http://www.libnet-suwa.gr.jp>

テーマブックス
2月の児童書
冬の夜空を見あげてみよう!

成人学校

受講資格 市内に在住または勤務している16歳以上の方（但し学生は除く）
受講料 1科目 1,000円
申し込み 各公民館の申し込み受付日時に受講料等を添えてお申し込みください。定員になり次第締め切ります

長地公民館 ☎27-8080 FAX26-1317 申込受付 2月10日(月) 午前8時30分～

天然の素材で楽しむ

～籐工芸～

日時 2月21日～3月14日、28日

毎週金曜日 [全5回]

午前10時～正午

定員 15名

講師 長地公民館ラタンの会講師

笠原 和代 先生

材料費 実費(約3,000円)「4

作品分」

持ち物 生花バサミまたは手芸バサミ、定規、エプロン

初めてのレザークラフト

～革に触れ楽しみながらオリジナル作品を～

日時 2月24日～3月31日

毎週月曜日 [全6回]

午後7時～9時

定員 12名

講師 レザークラフト講師

渡辺 久子 先生

材料費 1600円(1作品目小

銭入れ)+実費(2作品目)

持ち物 筆記用具、エプロン、使い古しの布(木綿の平織のもの)

川岸公民館 ☎23-2200 FAX23-1681 申込受付 2月13日(木) 午後6時～

スタンダードグラス入門

～光とガラスの競演～

日時 2月19日～3月19日

毎週水曜日 [全5回]

午後7時～午後8時30分

定員 20人

講師 日本スタンダードグラス普及協

会会員 登内 正 先生

持ち物 はさみ、タオル、筆記用具

材料費 実費(約6,000円)

☆ランプシェードを作ります！

救急法を身につける

～いざという時の対応が～
上級救命講習の修了証を交付!

日時 3月6日(木)

午後7時～午後8時30分

3月8日(土)、9日(日)

午後1時～午後5時 [全3回]

定員 20人

講師 諏訪広域消防岡谷消防署職員

持ち物 ハンカチ、動きやすい支度、筆記用具

湊公民館 ☎22-2300 FAX23-1598 申込受付 2月3日(月) 午前8時30分～

籐作品をつくらって飾ろう

～おしゃれなインテリアに～

日時 2月18日、3月4日、18日

毎週火曜日 [全3回]

午後7時～午後9時

定員 15名

講師 湊籐の会会員のみなさん

材料費 実費

持ち物 エプロン



パン・ケーキ教室

～愛情込めたおやつを
 お子さんに～

日時 2月24日～3月10日

毎週月曜日 [全3回]

午前10時～正午

定員 16名

講師 パン・ケーキ教室主宰

伊藤 陽子 先生

材料費 実費(1回500円程度)

持ち物 エプロン



おペーじ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

今年も大雪にみまわれ雪かきが大
変です。ちょっとひと休みに、こた
つにあたりながら広報を読んでクイ
ズに挑戦してみませんか。



問1 住宅用地の分譲公募の申し込み期
間は3月3日～何日まで？

答え ①5日 ②6日 ③7日

問2 市立岡谷病院では1月4日から何
センターを開設した？

答え ①血液透析センター
②在宅ケアセンター
③人間ドックセンター

問3 市県民税の申告相談は2月17日か
ら何月何日まで？

答え ①2月28日 ②3月17日
③4月1日

ヒント…特集を読むと・・・。

◎前回の答え(1/1)と当選者

問1 - ①合併とまちづくり 問2 - ②15人

問3 - ①旧岡谷上水道集水溝

正解総数19通(応募総数22通)の中から抽選で、高林京
子さん(南宮1)、小口真里奈さん(湖畔1)、原みちゑ
さん(赤羽3)、今井政友さん(加茂町1)、小口美寿男
さん(長地柴宮3)に記念品をお送りします。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号をお書
きになり、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所(住所不
要)》まで。2月20日の消印まで有効。ひと言書きそえてく
ださるとうれしいです。(ひと言は15日号の「みんなの声」
のコーナーへ掲載させていただく場合があります)

5年ぶりに御神渡りができ、寒い日
が続きます。道路は凍っていて歩き
にくく、つきささる冷たい風に、自転
車で買い物をする私は、春の訪れが待ち
遠しいです。
諏訪湖の白鳥は、岡谷の冬がお気に
入りで、毎年シベリアから飛来するの
です。寒いところが好きな白鳥の気持
ちは分かりませんが、白鳥を観たり、
カモにパンをあげたりしていると、い
やされるのを感じます。
そこで、白鳥の会事務局長の花岡さ
んに、お話を伺うことにしました。
花岡さんは、白鳥のために諏訪湖の
氷を割っている人を見て、自分も手伝
ったのが白鳥の会に入るきっかけだっ
たそうです。この氷割りは、白鳥が水
と一緒にえさを食べるために必要なこ
とで、早朝の作業は、水の中に入り、

厚い氷を割るため、寒さと冷たさで手
がしびれて痛いそうです。からだをは
って、白鳥を守ってくださっているこ
とを知りました。
「これからは、湖の中に自然が復活す
るように、鳥のえさになる「まご藻」
などの植物を植えて増やし、消波堤の
範囲も広げ、冬だけでなく夏も水鳥な
どの水辺の自然を楽しめる場所がで
ればいいですね。」と話してくださいま
した。
白鳥の寿命は長くて20年くらい。親
子、家族、単独で、何度も飛来するそ
うです。「暖かくなり、白鳥が無事にシベリ
アへ飛び立ったときには寂しいけれど
ほっとする」とおっしゃっていました。
もしかしたら、シベリアへ旅行すれ
ば、岡谷の白鳥に会えるかもしれませ
んね。

市民レポーター だより

浜 まゆみさんの
岡谷市 ここが知りたい ⑦

「白鳥の会」



市民レポーター 浜まゆみさん



白鳥の会事務局長 花岡幸一さん

一品料理を紹介していた
ナツ写真、また身近な
地域振興

ヤングナウ YOUNG NOW

No.156



自分の力で何かを達成する
ようないろいろな経験をしたい

まへの
前野 ともゆき
智之さん

(田中町1)

カサハラスポーツでお仕事を
している前野智之さん。
〇お仕事は何年目？
10年目になります。大学から
帰ってきて、家業を継いでい
ます。
〇やりがいは？
扱っているものに野球用品が
多いんですが、子どもたちが
野球をがんばっているのを見
て、応援したりサポートした
り、一緒に楽しめるのがいい
ですね。特に高校生は甲子園
を目指してがんばっているの
で、試合など応援に行ったり
3年間接すると卒業のころに
は一緒に感動します。
〇休日は何してる？
冬はスキーに行きます。もの
心つく前からしていて、今も
好きなんです。あと、諏訪
圏青年会議所のメンバーなの

で、お正月明けから連日「ア
イスキャンドル大作戦」のア
イスキャンドルを作っていま
す。今年は2月9日(日)に
行きますので、ぜひ大勢の家
族や友達などで散歩がてら見
に来てもらって、集まった他
の人たちと話をしたり、暖か
い気持ちになってもえたら
うれしいです。
〇将来の夢は？
去年、小諸から善光寺まで65
キロを歩いてお札を奉納する
という「善光寺小諸ふれあい
ウォーク」に参加しましたが、
とてもいい経験になりました。
た。そういう、例えば自転車
で日本中をめぐるつもりで、
自分で丸太小屋を作ったり、
自分の力で何かを達成するよ
うないろいろな経験をしたい
です。

“省エネルギー月間”

日本では、2月は省エネルギー月間だということです。これは立派なこと、誰もが自分のできることをするべきだと思います。さて、それでは世界のほかの国々はどうしているのでしょうか。

アメリカ人として、アメリカで国民一人あたりが他の先進国と比べて、倍以上のエネルギーを消費しているということはとても恥ずかしい事実です。しかし、最近読んだ記事が、少少だけ私をほっとさせてくれました。エネルギー消費量とGNP(国民総生産)の相互関係により、エネルギーの消費量を評価するというやり方です。それはつまり、GNPのうち1円を稼ぐのに、エネルギーをどのくらい消費するかを算出するものです。言い方を変えれば、各国において、エネルギーをどのくらい効率よく国民の富に変えているかということを示すものです。この評価によると、アメリカはそれほど悪くはなく、他の国々とあまり変わりません。また、日本は世界一の評価になっています！日本は比較的少ないエネルギーを使いながら国民の繁栄をつくりだしているということです。

問題は、中国やインドのように、すでに人口が多くエネルギー消費が多いのに効率的に使えていない国々のことです。インドはGNPのうち1円を稼ぐためにアメリカの2倍以上のエネルギー消費をしています。中国は3倍以上です。

つまり、そういった国々の産業が発展すれば、彼らがエネルギーを効率的に消費するような技術を取り入れていかないと、国民の富のためには一人ごとに莫大なエネルギーを消費することになり、世界のエネルギー消費そのものを、もっと増やしてしまうことになりかねません。公害を起こさず、私たちを支えてくれる新しいエネルギーの製造やその支援を、日本国内、そして海外で行うことも考える必要があると思います。石炭や石油、ガス、そして原子力といった有限のエネルギーは枯渇してきています。日光や風力、水力、海流、地熱、バイオガス、バイオマスなど、新しいエネルギーが私たちの未来です。現在使っているエネルギーを新しいものに替えるのは、大変なことかもしれませんが、でも次の諺が私たちに告げています。「変化の風が吹くとき、壁を作る人々と、風車を建てる人々がいる」

Hello! Everyone!

国際交流員の

エリック・リンドフロムです



No. 45